

機関リポジトリアウトプット評価の標準化と高度化

代表機関：千葉大学， 連携機関：東北大学， 筑波大学

2010～2012年度の活動

従来の統計処理の妥当性の検証

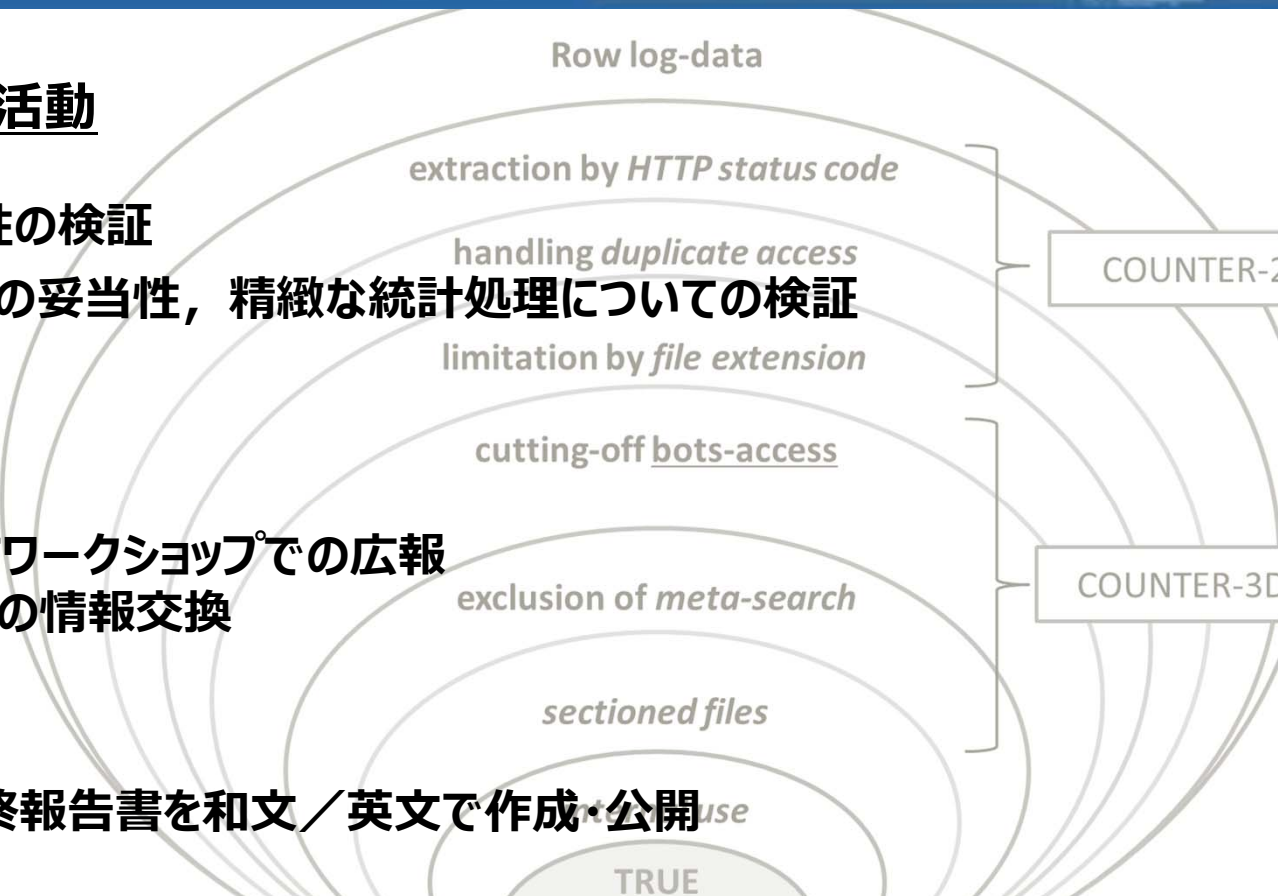
- COUNTER基準の妥当性，精緻な統計処理についての検証

情報交換，共有

- 国際会議の開催
- 月刊DRF，DRFワークショップでの広報
- カンファレンス等での情報交換

報告書の作成・公開

- プロジェクトの最終報告書を和文／英文で作成・公開



ROAT（機関リポジトリアウトプット評価システム）の運用は2013年4月末をもって終了しました
プロジェクトへのご協力，ありがとうございました